

平成 19 年度 第 2 回 備前市公共交通会議 議事概要

日 時：平成 20 年 2 月 12 日(火) 13 時 27 分～14 時 44 分

場 所：備前市役所 3 階 大会議室

出席者：(敬称略)

(委 員)西岡 憲康、玉垣 和志、山本 健次、大和 史明、村合 英二、
有本 和彦、井川 勲、井上 邦允、三村 渚、宗包 早苗
以上 11 名

(専門員)中山 和樹、箕作 一朗、永幡 節夫、和田 章

(事務局)企画課、教育委員会職員 4 名

欠席者：(敬称略)

(委 員)宇野 泰正、村上 礼子

傍聴人：1 名

議 題

- (1) 路線バス利用実態調査の結果について
- (2) ダイヤ改正について

協議の概要

- (1) 平成 19 年 12 月実施バス利用実態調査結果の報告
- (2) 平成 20 年 4 月 1 日実施予定ダイヤ改正案の提示

詳細は会議要旨のとおり

合意事項

ダイヤ改正 備前バス路線(4月1日実施)

平 日：8 便時刻変更

土 曜 日：13 便廃便、1 便増便、21 便時刻変更

日曜・休日：12 便廃便、2 便増便、3 便時刻変更

市営バス路線(4月1日実施)

土 曜 日：4 便時刻変更

【会議要旨】

協議事項

(1) 路線バス利用実態調査の結果について

《事務局からの説明》

- 平成19年12月に実施した日生運輸(株)運行の市内路線バスの利用実態調査の結果を報告
- 平日2日、土曜・日曜各1日の計4日間、市職員と日生運輸(株)職員が当日の路線バス全便に乗車し乗降者数等を調査した。
- 平日2日間の平均は、全便合計で939.5人。内訳は小中学生が452.5人、48.2%。一般・高齢者が487人、51.8%。一般・高齢者の1便当たり平均乗車数は6.2人。誰も乗らなかった0人便は2日間平均で6便、7.3%だった。
- 路線別では、寒河線が一番多く全体の過半数を占めた。一般・高齢者の1便平均も10人を超えたのはこの路線のみで他の路線は1桁。
- 平日の前回5月調査時との比較では、全便合計で1日当たり46.5人、5.2%増、一般・高齢者が54人、12.5%、1便平均0.5%増。
- 平日の昨年1年、6日間の調査結果では、曜日間でのバラツキがあるものの、寒河線を中心に若干の増加傾向が見られる。
- 土曜日は、全便合計で186人、前回5月調査より38人17%減。内訳は小中学生が9人、一般・高齢者が177人。一般・高齢者の1便平均は4.4人。0人便は10便、25%と前回比倍増となり、三石線では10便中7便が0人だった。
- 日曜日は、合計で123人。前回6月調査より10人7.5%減。内訳は小中学生が5人、一般・高齢者が118人。一般・高齢者の1便平均は3.7人。0人便は9便、28.1%だった。
- 昨年1年、全10日間の調査結果では、平日6日平均の1日当たり全便合計は910.2人、土曜日2日間平均の1日当たり全便合計は205人、日曜日2日間平均の1日当たり全便合計は128人となり、これをもとに年間の利用者数を推計すると約22万人、これは一昨年12月の予想20万5千人を1万5千人、7.3%上回るものとなった。

《質問・意見》

- 委員 三石線ですが、佐那高下は乗る人がいないと思う。三石に行くにしても佐那高下は通らなくていいと思う。蕃山で折り返すということでもよい。見直してはどうか。
- 事務局 今回は、土日についての改正が主で、三石線は佐那高下発着取り止めを含め減便しています。平日については、今後、利用状況等を確認したうえで、効率的な運行となるよう協議し、必要に応じ改正を検討したいと思います。
- 委員 一般・高齢者の利用がありますが、高齢者等はバスの利用目的としては何ですか。
- 事務局 通院と買物、この2点最も多い利用目的です。
- 専門員 今回の聞き取り調査等の結果をまとめたものはありますか。
- 事務局 まとめていますが、調査対象者に偏りがあり今回資料提示していません。聞き取ったうち、利用目的としては、平日は通院と買物、休日は買物が多かったです。
- 専門員 今回の結果をみると寒河線の利用が多い。調査季節に近い昨年1月の結果と比較して特に高齢者の利用が伸びており主要バス停で比較しても増えている。
他の地域では、バス利用者の減少に苦しみ路線廃止もやむ終えない状況のところが多い中、備前市では一昨年来実施してきた対策が功を奏していると思う。今後もこの状況を維持できるよう頑張っていたきたい。(別途資料説明)

(2) ダイヤ改正について

《事務局からの説明》

- 経費削減・効率的運行を目的に、土曜・日曜の車両削減を図るダイヤ改正案が日生運輸(株)から提示されている。利用実態調査の結果等を踏まえ、特に利用の少ない便について廃便する案となっている。
- 改正予定日は、本年4月1日。
- 車両は、土曜日については現行4台を3台に、日曜等休日については現行3台を2台に、各1台ずつ減車し、残り車両での効率的運行を図る。
- 便数は、土曜日については全路線計で現行40便を28便とし、主に蕃山・三石方面を中心に減便し、日曜等休日については現行32便を22便とし、吉永地域(八塔寺線・吉永線)の全便を廃止する。
- 各路線、各便について詳細に説明(記載省略)
- 土日減便以外に、寒河線について運行調整のため時刻改正する。
- 八塔寺線の土曜日ダイヤ改正に合わせ、乗り継ぎを行う市営バス三国東西線の土曜日のダイヤを改正し、市条例施行規則を改正する。
- 先の市議会総務委員会において、吉永の委員から日曜の減便について、利用者の意向を汲み取ってほしい、また、他の交通手段等は考えられないか等の意見が出された。

《質問・意見》

専門員 片上・青石間で回送利用で増便となる便もあるが、このようなケースは多いのか。

日生運輸 ほとんどありません。

委員 市議会総務委員会での意見にどのような答弁をされたのか。

事務局 利用実態調査結果を説明し、減便するバスは特に利用が少ない状況であることや、経費削減を図るうえでやむない措置であることを説明しました。

委員 廃止した場合の、高齢者の通院等の手段について市ではどのように考えているのか。

委員長 今回は、土日についての減便で、通院については影響は少ないと思う。また、バスのない地域等についてはデマンドタクシー等の検討も必要だと思う。

日生運輸 市や事業者でもいろいろ考えているが、委員の皆様には、是非このような会議の席で、「こんな方法もあるよ」というような意見を出していただきたい。

委員長 例えば、イベント等の開催時に会場から離れた駐車場を利用し会場まで運行する方法とかもある。

日生運輸 交通渋滞を緩和する意味でも有効な方法だと思う。

(3) その他

《質問・意見》

委員 寒河線は利用が多いが、寒河・日生地区のもう少し枝葉のところへ何便か停めてもらえるようなことはできないか、という要望がある。

委員長 同地域での運行案はあるようだがいろいろ調整事項がある。ニーズはあると思う。

専門員 そういう話は、町内会とか地域の話し合いの場に出ていますか。もしあれば、その話を持ち上げていただきたい。全国の事例では、自治会等が自ら考え自主的に動いている。それを行政が応援・支援する、また事業者も動いていくというスタイルで、デマンド等全国の成功例を見ると自分たちが主体で取り組むことが大事です。